学校番号	J3025

令和5年度【グローバルスタディーズ】

学年	3	週授業コマ数	2	授業時数(45分)		標準授業時数(50分)	○
使用教科書	1　New Crown 3 2　なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

1　新しい言語を学ぶことは決して簡単なことではありません。生徒の人数が多く、その言語の習得レベルの差が大きいクラスにおいては、特に難しくなります。お互いの前でミスをすることに対する恐怖は誰にでもあるものです。この授業は比較的少人数で行うものであり、間違いを恐れず、安心して学びを深めるクラスにしたいと願っています。

2　このコースでは、国際化された文脈での数学の探求や、様々な文化や時代からの調査を通して、日常的に使用する英語の語彙やフレーズの開発を促進します。生徒は数学的、文化的に豊かになる機会を得ると同時に、論理的、批判的思考、創造的思考力を養い、様々な国際的文脈の問題を英語で解決することができるようになります。学生は知識構築のための学習環境に参加し、自分自身の学習に積極的に参加し、自己調整し、協力し合うことができます。学習問題は、学習者を足場にして、スピーキング、リーディング、ライティング、リスニングを通じた英語の使用を促進するように意図的にデザインされています。このコースの終了時には、数学の語彙や簡単な英語のフレーズを日常的に実用的に使用できるようになることを目指しています。

2　学習の到達目標

1　このクラスの目標は、通常の英語授業で学んだ知識の理解を深めることにあります。少人数制の授業で個々に合わせた授業を展開していきますが、普段の授業よりも自由に、英語を用いて先生や友人と交流をしてほしいと思います。クラスでは４技能を使っていきますが、その中でも特にプロダクティブスキル（スピーキングとライティング）に傾注して取り組んでもらいますので、多様なクラスアクティビティを通して、積極性が養われることでしょう。またそれとは別の年間目標として、何かについて書くという作業を多く行い、書き方の構成に慣れ親しんでもらうつもりです。自分や友人の文章を何度も見直すことで、原稿を推敲する重要性に気づくはずです。

2　このコースは、国際化された文脈の中で数学を探求し、様々な文化や時代の調査を通して、日常的に使用する英語の語彙やフレーズの開発を促進することを目的としています。生徒は、数学的、文化的に豊かになる機会を得るとともに、論理的、批判的思考、創造的思考のスキルを身につけ、国際的なさまざまな文脈の中で英語で問題を解決することができるようになります。

　学生は、知識構築のための学習環境に参加し、自分自身の学習に積極的に参加し、自己管理し、協力し合うことができるようになります。学習問題は、学習者の足場を固め、スピーキング、リーディング、ライティング、リスニングを通じた英語の使用を促進するように意図的にデザインされています。このコースの終了時には、生徒は数学の語彙と簡単な英語のフレーズを日常的に実用的に使うことができるようになる。

この目標は、以下を通じて促進される。

- 日常的に使える数学英語の語彙とフレーズを身につける。

○ IBガイドのコマンド用語に対応する能力を養う。

- 私たちを取り巻く自然界や人間が作り出した世界における数学の用途を、異なる文化や時代から探求する。 - 論理的思考、批判的思考、創造的思考のスキルを身につけ、国際的なさまざまな文脈の問題を英語で解決する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期Sem.	単元名Unit	学習内容 Contents	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1	1 Present perfect continuous tense in writing and speaking、Learning how to write and edit speeches、mReader extensive reading program 2 文化的算数パズル パターン認識、論理的推論、問題解決、コミュニケーション(ブレインストーミングとアイデアの組み合わせ)、異なる表現モデルの使用、および問題へのアプローチとその解決策の記述方法を作成するために自分のアイデアを一般化するために、異なる文化の様々な論理パズルを探求し、向上させます。このプロセスは、生徒が思考を広げ、解決のプロセスを振り返るのに役立ちます。	a: b: c:			
	2	1 Passive form、Practicing presentation skills、mReader extensive reading program 2 歴史的・現代的な数システムの利用 過去から現在に至るまで、さまざまな数の体系がどのように使われてきたかを探り、グローバルな視点を通して数的感覚の基礎をより強固なものにする。	a: b: c:			

	3	1 Post-positive adjectives、Writing and editing book reports、mReader extensive reading program 2 文化的算数パズル パターン認識、論理的推論、問題解決、コミュニケーション（ブレインストーミングとアイデアの組み合わせ）、異なる表現モデルの使用、および問題へのアプローチとその解決策の記述方法を作成するために自分のアイデアを一般化するために、異なる文化の様々な論理パズルを探求し、向上させます。このプロセスは、生徒が思考を広げ、解決のプロセスを振り返るのに役立ちます。	a: b: c:			
2	4	1 関係代名詞(Relative pronouns)、Practicing and writing/editing skits、mReader extensive reading program 2 データ＆統計リテラシー データの様々な表現、メディアにおけるデータの操作方法を探求することで、データと統計のリテラシーを身につけ、21世紀におけるデータの解釈と消費におけるグローバルで批判的な考え方を養う。	a: b: c:			
	5	1 主格 (nominative case)、[which], [that], [who]、Writing and editing letters/emails、mReader extensive reading program 2 日常の四則演算と技術 二次方程式を理解し、モデル化するための技術的アプローチを探求し、G9数学の中核となるこのトピックに実践的なアプローチを提供します。	a: b: c:			
	6	1 目的格 (objective case)、[that], [which]、Writing and editing letters/emails、mReader extensive reading program 2 データ＆統計リテラシー データの様々な表現、メディアにおけるデータの操作方法を探求することで、データと統計のリテラシーを身につけ、21世紀におけるデータの解釈と消費におけるグローバルで批判的な考え方を養う。	a: b: c:			
3	7	1 Review all grammar points、Introduction to essay writing、mReader extensive reading program 2 類似性(プロポーション)、円と三角測量 日常的に使用する比率を理解し応用するために、テクノロジーを使ったモデリングを、ハンズオン・インタラクティブなアプローチで探求します。 円の研究を通して、三角測量の用途と重要性を探り、その現代的な使い方を学ぶ。	a: b: c:			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度